

※基本構想(素案)P14～P15「都市空間」【修正案】

3. 都市空間

本市は、さまざまな市街地形成の経過や地形的条件をもつ個性豊かな地域で構成されています。その大部分を住宅地が占めますが、商業・業務、産業、文化・スポーツ・レクリエーション、学術・研究、健康・医療など、多様な都市機能¹も集積しています。

それぞれの地域が持つ特性やポテンシャルをふまえながら、魅力ある都市空間の形成をめざします。

(1) 地域ごとの特徴ある拠点の形成

地域の玄関口となる鉄道駅周辺は、都市全体の中心的な機能や地域の生活を支えるさまざまな機能が集積しており、地域ごとの特性に応じた拠点の形成を図ります。

(各拠点のまちづくり方針)

□都市拠点（都市機能が集積する拠点）

- JR吹田駅周辺 商店街などの活性化の動きと連携を図りながら商業空間としての拠点
- 阪急吹田駅周辺 各種の公共施設の集積を生かした市民生活の中心的な機能をもつ拠点
- 江坂駅周辺 交通利便性などを生かした商業・業務機能が高度に集積する拠点
- 岸辺駅周辺 北大阪健康医療都市（健都）として医療産業などが集積する拠点
- 万博記念公園周辺 文化・スポーツ・レクリエーション機能が集積した広域性の高い拠点

□地域拠点（地域の中心となる拠点）

- その他の鉄道駅周辺 生活関連機能の充実などを図りながら地域の中心となる拠点

(2) 都市間・市内のネットワークの形成

地域の拠点で展開される活動を活発化するため、都市間や市内の拠点間の広域的なネットワークを形成し、人、物、情報の交流を図ります。

(ネットワークの形成)

- 都市間のネットワーク 大阪都心部や北大阪地域、さらには阪神地域・京阪地域など、周辺都市との結びつきを強めるネットワーク
- 市内のネットワーク 市内の拠点間の連携を図るネットワーク

(3) 人と自然の共生空間の形成

市域全体が市街化されているなか、市街地内に残る貴重な自然環境は、生物多様性の保全、良好な環境の確保、レクリエーション、潤いのある景観形成、防災などのさまざまな面から重要な役割を担っています。そのような自然環境の規模やつながりを確保するなど、人と自然の共生空間の形成を図ります。

(市街地内の自然環境の例)

- 安威川や神崎川に残る河川の自然環境
- 千里丘陵南端部の斜面緑地をはじめとする竹林やため池などの自然環境
- 千里ニュータウンや万博記念公園を中心に整備された大規模な公園などの豊かなみどり

1 都市機能…居住、商業、工業、文化、教育、情報、レクリエーション、行政、交通といった都市におけるさまざまな活動に対して種々のサービスを提供する機能

図表Ⅲ-3 吹田市の将来空間



第2回専門部会（H29.1.13）における「都市空間」に関する主な御意見

No.	区分	主な御意見
1	用語 など	「都市計画マスタープラン」に示されている地域軸の視点が基本構想においては省略されている。市民にとっては、東西軸など地域軸の観点も重要ではないか。
2		都市拠点と地域拠点の違いがわかりにくい。
3		「都市機能増進」と書いてあるが、量なのか質なのかわかりにくい。定義がないと、いろいろな言葉が出てきて、誤解を与えかねない。
4		「都市計画マスタープラン」の20ページに都市拠点と地域拠点があるが、定義がないのでわかりにくい。20ページの表をそのまま載せてもわかりにくい。そのような用語に触れずにわかりやすく説明する観点から、「本市には14の駅があり、その中で、特別な場所や人が集まる場所がいくつかある」のような表現としても良いのでは。
5	図の 示し方	図表Ⅲ－3「吹田市の将来空間」の図を示し、その後でこの文章を書くとうわかりやすい。図表Ⅲ－3は吹田市内だけを示しているが、周辺地域とのつながりも示すと良いのでは。
6		(1)(2)(3)の内容をビジュアルで示すと、関係性がわかりやすくなるのではないか。
7		総合計画として、吹田市が今後、政策選択をするうえで必要となる地理的な情報を、地図などでまとめると良い。